

# 社会科学習指導案

日 時 平成23年11月10日 5校時  
学 級 紫波町立紫波第二中学校  
2年2組 28名  
(男子17名 女子11名)  
場 所 2年2組教室  
授業者 菅原 みどり

## 1 単元・題材

第1章 さまざまな面から見た日本 3 世界と日本の人口  
過疎の問題とその取り組み

## 2 単元の目標

過疎地域にくらす人々のさまざまな新しい取り組みを理解し、過疎の問題の解決策について具体的に考えようとするができる。

## 3 生徒について

本学級は、日常生活において明るく前向きな生徒が多い。しかし、普段の授業では、挙手、発言が活発とはいえず、発言者も一部の生徒に限られてしまいがちである。社会については、好きな生徒が8割以上を占める。特に、歴史分野が好きな生徒が多い。一方、発言、発表については、半数以上の生徒が授業中発言をしていない。発表することを不得意に感じている生徒がおおよそ8割を占めているが、みなと話し合うことが好きな生徒は約7割をしめている。話し合うことは好きだが、発表することは、苦手と感じている生徒が多いことが分かった。定期テストの平均点は、女子が高く、男女の差が大きい。

※ 社会に関するアンケート（平成23年6月1日）

Q1 社会は好きですか。

好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
9名（33%）	14名（52%）	4名（15%）	0名（0%）

Q2 社会のどんな分野に興味がありますか。

地理（日本）	地理（世界）	歴史
4名（15%）	7名（26%）	15名（56%）

Q3 なぜ地理・歴史が好きですか。

なぜ、地理が好きですか。	なぜ、歴史が好きですか。
<ul style="list-style-type: none"><li>・世界のいろいろなことを知ることができる。</li><li>・いろんな国の場所を知ることができる。世界のことをよくわかる。</li><li>・地形を学ぶことが好きだから。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・どんな出来事があり、どんな人たちが活躍したのか興味がわく。</li><li>・戦争をしていたころの時代や事柄を知りたいから。</li><li>・過去にどのようなことが起こったか分かるし奥が深い。</li><li>・昔の人のくらしがおもしろい。</li></ul>

Q4 あなたは授業中、自分からすすんで発言しますか。

よく発言する	ときどきする	ほとんどしない	まったくしない
6名（22%）	6名（22%）	11名（41%）	4名（20%）

Q 5 あなたは、みんなの前で何か発表することは好き（得意）ですか。

好き（得意）	やや好き（得意）	あまり好き（得意）でない	嫌い（苦手）
1名（4%）	8名（30%）	7名（26%）	11名（41%）

Q 6 あなたは、みんなと何か話し合うことは好きですか。

好き	やや好き	あまり好きでない	嫌い
11名（41%）	7名（26%）	7名（26%）	2名（7%）

(3) 研究に関わって

社会科においての基本的な知識や用語は理解しているが、「資料を読み取る、読み取って説明する、読み取って考え説明する」ことを苦手としている生徒が多いことが、本校社会科の課題である。本校の授業の基盤でもある、「自分の考えを明確に持つ」「考えを表現し合い、高め合う」ことにつながる点でもある。そこで、資料の読み取りを通して、自分の考えを持ち、グループ内で発表し合うことによって、考えを高め合うことにつなげたいと考えている。

話を聴く力を高める手立てとして、2人ペアでの調べたことについての学び合いを行わせている。聴く力とともに相手に伝わるように話すこともねらっている。

4 指導計画（7時間扱い）

- ・世界の人口分布とその推移・・・・・・・・・・1
- ・日本の人口と人口問題・・・・1
- ・かたよる日本の人口分布・・・・1
- ・過密の問題とその取り組み・・・・2
- ・過疎の問題とその取り組み・・・・2（本時2/2）

5 本時について

(1) 主題 人口からみた紫波町の問題点は何だろう

(2) 目標

- ・過疎地域の抱えている問題や過疎地域の将来について考えることができる。

(3) 研究にかかわって

- ① 宿題の確認聴く力を育てたい。
- ② 自分たちが住んでいる地域の資料を用意することによって、より身近なこととして考えさせたい。
- ③ グループ内の役割分担をはっきりさせ、必ず活動する場としたい。

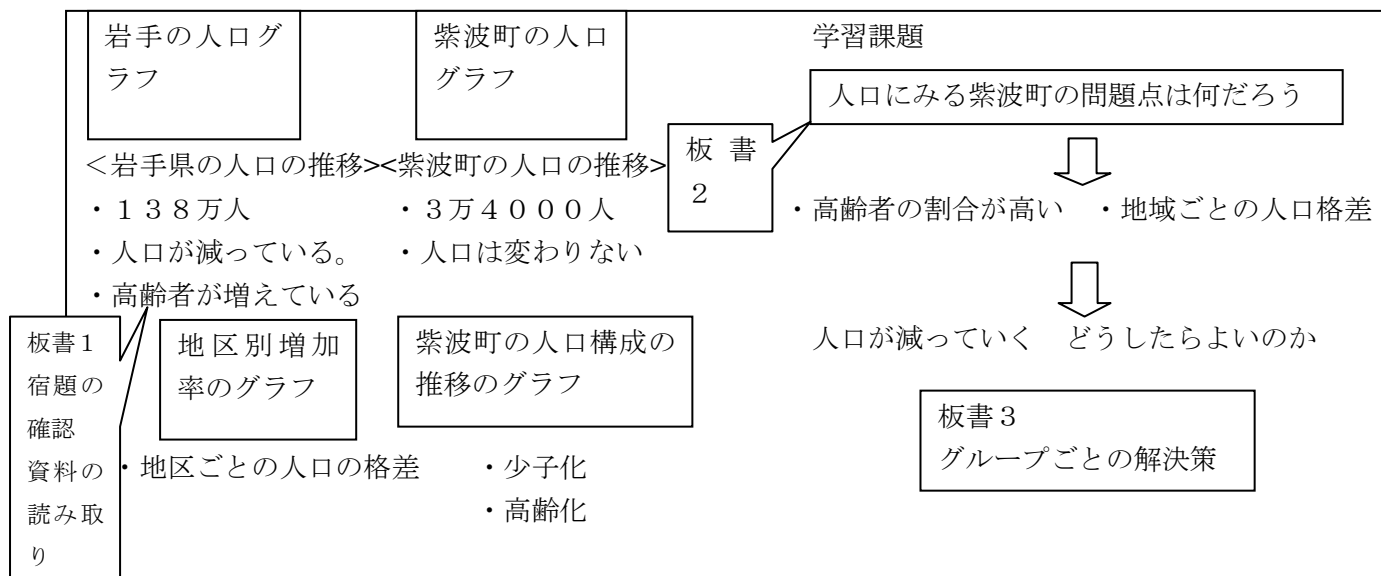
(4) 本時の展開

段階	学習項目	学習活動	時間	指導上の留意点
導 入	1. 宿題、前時の確認  2. 岩手県の現状 紫波町の現状  3. 学習課題の確認	1. 持ち物・前時の復習、宿題の確認をする。  ※ 宿題：過疎について調べる。 (岩手県の人口、紫波町の人口)  2. 岩手県の人口の推移を読み取る 紫波町の人口の推移を読み取る。  3. 本時の学習課題を確認する。	15	□教科リーダーは持ち物・宿題を確認する。  ☆教科書 岩手県、紫波町の人口推移資料
人口からみた紫波町の問題点は何だろう				
展 開	4. 紫波町の問題点  5. 紫波町の高齢化による問題  6. 紫波町の地域ごとの人口減少  7. 問題点の解決策  8. 紫波町の取り組み	4. 紫波町の問題点  5. 高齢化による問題  6. 地域ごとの人口減少  7. 問題点の解決策を考える。 紫波町のよさを生かしたり、周辺地域のことをふまえて、さまざまな視点から考える。 (1) 各自、解決策を考える。 (2) グループごとに話し合いをする。 ア グループごとに座席を替える。 イ グループ内で1人ずつ発表し合う。 ウ グループでまとめる。 エ グループごとに考えを発表し合って、考えを共有しあう。  8. 紫波町の取り組みの紹介	30	☆紫波町の人口資料 ・人口構成のグラフ ・地域ごとの人口増加率 ◇資料を読み取る時間の確保  □「考えを表現し合う活動」
終 結	9. 本時のふりかえり  10. 家庭学習の確認	9. 「授業評価カード」に自己評価を記入し、本時を振り返る  10. 家庭学習（今日の学習でわかったこと）と次時の予告を聞く	5	☆授業評価カード

(5) 本時の評価規準

評価	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現
A	過疎地域が生じる要因と抱える課題について関心を高め、意欲的に追及し、過疎問題の解決策、活用方法について根拠をもとに具体的に考えようとしている。	過疎地域が生じる要因と抱える課題について他者の意見や過疎についての有用な資料を適切に選択し、それらをもとに、過疎問題の解決策について多面的、多角的に考察し、根拠をもって適切にまとめ、発表することができる。
B	過疎地域が生じる要因と抱える課題について関心を高め、過疎問題の解決策について具体的に考えようとしている。	過疎地域が生じる要因と抱える課題について他者の意見や資料をもとに自分の考えを多面的、多角的に考察し、適切にまとめ、発表することができる。
C への 支援	助言を通して話し合いに参加する。 ・話し合いの役割の確認 ・資料をもとに考えるように助言。	助言を通して、まとめ発表する。 ・人口のグラフや資料の指示。 ・グラフや資料の読みとり方。 ・グラフや資料をもとにしたまとめ方

(6) 板書計画



本単元は、「中学校学習指導要領 解説―社会編―」地理分野の内容（２）にあたり、地域の人口の分布や動態、都市・村落の立地や機能に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などに関連付け、過疎・過密問題の解決が地域の課題になっていることについて考えさせる。

ここでは、過疎・過密問題の解決が地域の課題になっていることを踏まえて自分の考えをまとめさせたいと考える。

- （１）現在の日本の人口構成や人口分布が大きく偏っていることに関心をもち、高齢社会や少子化、過疎・過密がもたらす社会的な課題について意欲的に学習しようとすることができる。（関心・意欲・態度）
- （２）日本の人口分布における過疎と過密が、くらしのうえにどのような課題をもたらしているのかを多面的・多角的に考察できる。（思考・判断・表現）
- （３）地域ごとの人口構成の特色を考察するために人口ピラミッドを描いたり、分布図を作成したりすることができる。  
過密・過疎地域の特色を考察するために各種の情報を収集、選択して活用できる。（資料活用の技能）
- （４）世界の人口分布は都市や工業の発達した先進工業国とアジアの稲作地域に集中していることに気付くとともに、日本でも過密・過疎地域があり、人々のくらしに大きな影響を与えていることを理解できる。（知識・理解）

☆ 前時の展開（公開前の授業）

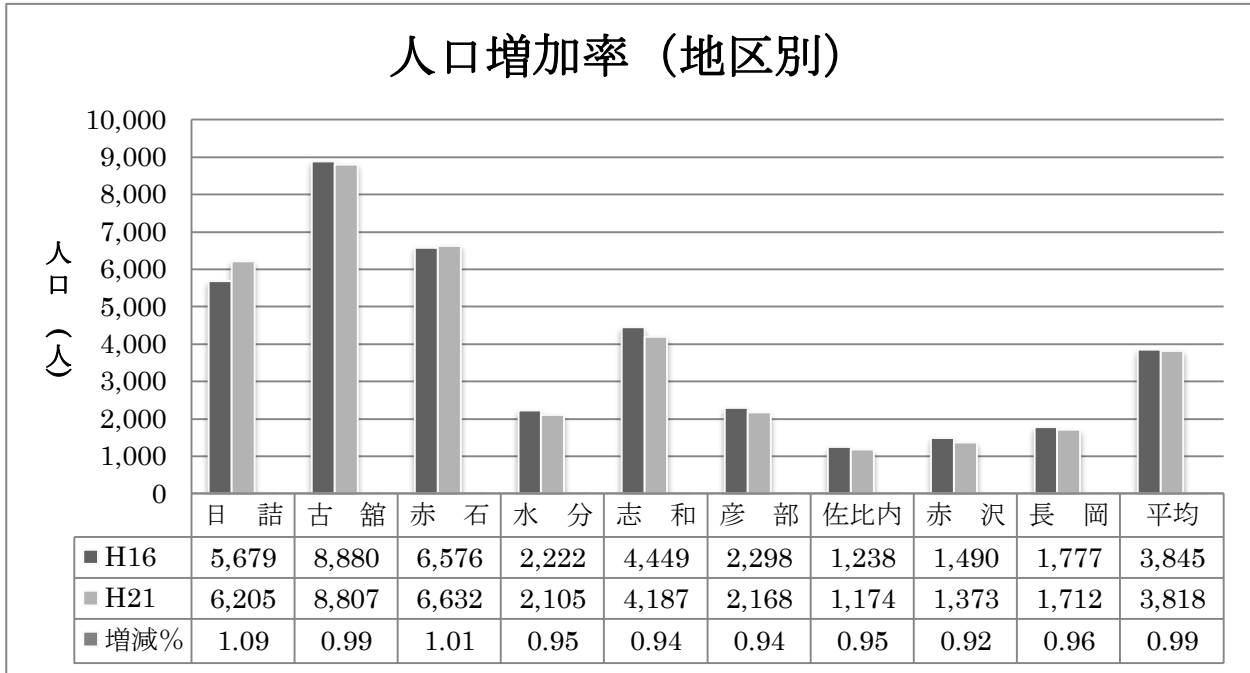
段階	学習項目	学習活動	時間	指導上の留意点
導 入	0. 宿題、前時の確認	0. 持ち物・宿題を確認し、前時の確認をする。	10	□教科リーダーは持ち物・宿題を確認する。  ☆教科書
	1. 過疎地域の確認	※ 宿題： 1. 過疎地域の地図から、過疎地域が国内でどのようなところに広がっているのか確認する。		
	2. 学習課題の確認	2. 本時の学習課題を確認する。		
過疎地域ではどのような問題が起きているのだろうか				
展 開	3. 過疎地域の問題の確認	3. 過疎地域ではどのような問題が起きているのか。	35	☆教科書  ☆教科書、資料
	4. なぜ、過疎地域の問題は起こるのか。	4. なぜ、過疎地域の問題は起こるのか。 人口減少と高齢化年代の人口が多く、どの年代が少ないのか読み取る。		
	5. まとめ	5. 日本の過疎地域の現状をとらえる		
終	6. 本時のふりかえりと家庭学習の確認	6. 「授業評価カード」に自己評価を記入し、本時を振り返る		☆授業評価カード

結		家庭学習と次時の予告を聞く	5	☆家庭学習プリント
---	--	---------------	---	-----------

(5) 本時の評価規準

評価	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現
A	過疎地域に暮らし人々のさまざまな新しい取り組みを理解し、過疎の問題の解決策について具体的に考えようとしている。	過疎地域が生じる要因と抱える課題について自分の考えを多面的、多角的に考察し、適切にまとめることができる。
B	過疎地域の問題の解決策について意欲的に参加している。	過疎地域が生じる要因と抱える課題について自分の考えを、適切にまとめることができる。
C	助言を通して話し合いに参加する。	助言を通して、まとめる。

【資料2】人口増加率（紫波町内地区別）



グラフから読み取れること

---

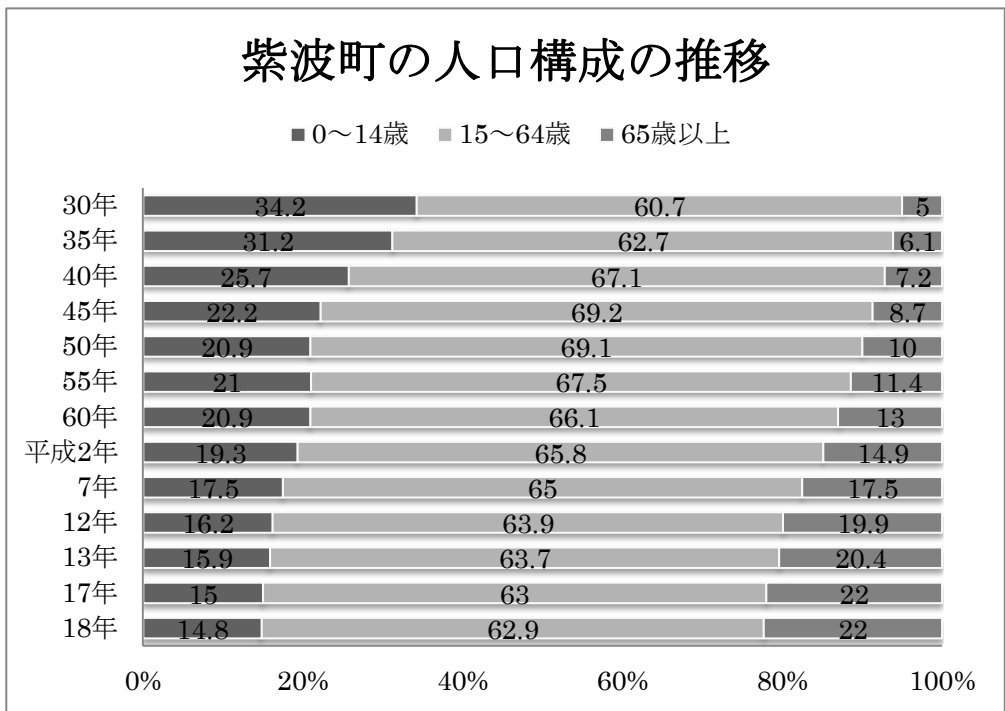


---



---

【資料1】紫波町の人口構成の推移



グラフから読み取れること

---



---

⑤ 過疎の問題とその取り組み

学習課題

--

★問題点

--

☆なぜ、このような現象が起こるのだろう


☆このままだとどうなるのだろう

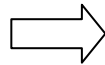

<どうしたらよいのだろう>

☆ 自分の住んでいる所で、具体的にどんなことをしたらよいのか考えてみよう

1 【自分の考え】

2 【グループの考え】

--



・
・
・
・

3 【学級の考え】

・
・
・
・
・
・

【学習を終えて】
